

## 健康科学科

### 大澤 功

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. ヴィジュアル糖尿病臨床のすべて 糖尿病患者の食事と運動 考え方と進め方. 3章 D. 運動の種類と特徴.	共著	2014年3月	中山書店	編者：荒木栄一，池上博司，稲垣鴨也，植木浩二郎，古家大祐，谷澤幸生，中村二郎，西川武志，前川聡，山田祐一郎，綿田裕孝	pp.192-198
2. 糖尿病治療のニューパラダイム第1巻 ライフスタイルの改善～食事療法，運動療法を中心に～ 5. 運動のアドヒアランスをあげるコツ.	共著	2014年7月	医薬ジャーナル社	編者：加来浩平，綿田裕孝，松田昌文，池上博司，宇都宮一典	pp.214-218
B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 心の問題を抱える学生への復学支援－休学者相談週間の試み－.	共著	2014年5月	CAMPUS HEALTH, 51巻2号	前田章，外ノ池隆史，糠谷敬子，森山恭子，横木由美子，高柳裕子，大澤功	pp.127-132
C (翻訳・資料)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 心と身体健康管理－生活習慣指導のエビデンス－.	単著	2014年2月	第63回全国学校保健研究大会報告書		pp.52-53
2. 心の問題を抱えた学生の復学支援を考える(第3報)～休学者相談週間の試み～.	共著	2014年2月	CAMPUS HEALTH, 51巻1号	前田章，外ノ池隆史，糠谷敬子，森山恭子，横木由美子，高柳裕子，大澤功	p.542
3. 保健センターにおける受動喫煙防止支援～6年間の活動と学内変化～.	共著	2014年2月	CAMPUS HEALTH, 51巻1号	糠谷敬子，外ノ池隆史，森山恭子，前田章，宇野智子，北村洋子，大澤功	p.365
4. 問診票を利用した糖尿病検診の有用性－愛知県医師会調査結果より－.	単著	2014年6月	愛知医報, 1975号		pp.21-22
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 毎年提出の医学適性検査診断書記載項目の必要性の有無について.	学会発表	2013年10月	平成25年度日本産業衛生学会東海地方学会，長久手	高柳泰世，宮尾克，大澤功，八谷寛	
2. 心と身体健康管理－生活習慣指導のエビデンス－.	講演	2013年11月	第63回全国学校保健研究大会，秋田	大澤功	
3. 保健センターにおける受動喫煙防止支援～6年間の活動と学内変化～.	学会発表	2013年11月	第51回全国大学保健管理研究集会，岐阜	糠谷敬子，外ノ池隆史，森山恭子，宇野智子，北村洋子，前田章，大澤功	
4. 心の問題を抱えた学生の復学支援を考える(第3報)～休学者相談週間の試み～.	学会発表	2013年11月	第51回全国大学保健管理研究集会，岐阜	前田章，外ノ池隆史，糠谷敬子，森山恭子，横木由美子，高柳裕子，大澤功	

5. フィジカルヘルス2	ポスター発表 座長	2013年11月	第51回全国大学保健管理研究集会, 岐阜	大澤功	
6. ピア・サポートプログラムが高校生の学校環境適応感に及ぼす効果—アセス(6領域学校環境適応感尺度)による効果評価—	学会発表	2013年11月	第60回日本学校保健学会, 東京	近藤充代, 大澤功	
7. 健康管理, 疾病予防9	一般演題 座長	2013年11月	第60回日本学校保健学会, 東京	大澤功	
8. 問診票を利用した糖尿病検診の有用性.	講演	2014年3月	平成25年度愛知県糖尿病対策推進会議学術講演会, 名古屋	大澤功	
9. 社会医学・医療経済学 I	一般演題 座長	2014年5月	第57回日本糖尿病学会年次学術集会, 大阪	大澤功	
10. ストレスの考え方と評価法.	講義	2014年6月	平成26年度健康運動指導士養成講習会, 大阪	大澤功	
11. 健康管理の重要性—健康管理面から見た事故防止策—	講義	2014年7月	愛知県トラック協会プロドライバー研修, みよし	大澤功	
12. 女子大学生のライフイベント意識調査.	学会発表	2014年9月	第52回全国大学保健管理研究集会, 東京	糠谷敬子, 外ノ池隆史, 森山恭子, 宇野智子, 北村洋子, 後藤真紀, 岩瀬明, 玉腰浩司, 大澤功	
13. 健康管理の重要性—健康管理面から見た事故防止策—	講義	2014年9月	愛知県トラック協会プロドライバー研修, みよし	大澤功	

## 城戸裕子

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 第26回社会福祉士国試対策14' 専門科目編	共著	2013年5月	福祉教育カレッジ編集 医学評論社	城戸裕子他	pp.241-309
2. 2014社会福祉士全国統一模擬試験解説書	共著	2014年10月	福祉教育カレッジ編集 医学評論社	城戸裕子他	pp.194-211
B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 住民の望む地域生活に対する意識について ~高齢社会に望む生活実現と医療福祉サービスの在り方~	共著	2014年3月	愛知学院大学論叢心身 科学部紀要, 第6巻, 1号	城戸裕子, 小佐々典靖	pp.79-87
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. H26年度 愛知県福祉サービス第三者評価調査者養成研修会(高齢者福祉分野)	講師	2014年1月	愛知県社会福祉協議会 愛知県社会福祉会館		
2. H26年度 愛知県福祉サービス第三者評価調査者養成研修会(高齢者福祉分野)	講師	2014年2月	愛知県社会福祉協議会 愛知県社会福祉会館		
3. H26年度 愛知県福祉サービス第三者評価調査者養成研修会(高齢者福祉分野)	講師	2014年7月	愛知県社会福祉協議会 愛知県社会福祉会館		
4. H26年度 愛知県福祉サービス第三者評価調査者養成研修会(高齢者福祉分野)	講師	2014年9月	愛知県社会福祉協議会 愛知県社会福祉会館		
5. H26年度 愛知県福祉サービス第三者評価調査者養成研修会(施設実習編)	講師	2014年10月	特別養護老人ホーム南 山の郷		

6. H26年度愛知県福祉サービス第三者評価調査者養成研修会(施設実習編)	講師	2014年10月	特別養護老人ホーム扶桑苑		
7. 保育実践演習講義 児童虐待の現状と課題①	講師	2014年9月	東京 YMCA 社会体育保育専門学校		
8. 保育実践演習講義 児童虐待の現状と課題②	講師	2014年9月	東京 YMCA 社会体育保育専門学校		

## 齊藤 満

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. Enhanced muscle pump during mild dynamic leg exercise inhibits sympathetic vasomotor outflow	共著	2014年7月	Physiol Rep 2(7)	Katayama K, Ishida K, Saito M, Koike T, Hirasawa A, Ogoh S	pp.1-10
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 楽しく,安全にマラソン挑戦	講演	2013年10月	名古屋市 千種スポーツセンター 集会室	齊藤満	
2. 心の健康と健康科学—運動と交感神経活動から考える—	シンポジウム	2014年2月	平成25年度愛知学院大学心身科学研究所シンポジウム 愛知学院大学日進学舎14号館	齊藤満	
3. 運動時の呼吸リズム観察への新しい呼吸モニターの応用	学会発表	2014年3月	第18回東海体力医学会東海地方会学術集会大会 あいち健康プラザ大府市	齊藤満, 水藤弘史, 佐々木実	
4. Sympathetic outflow during leg cycling is suppressed by muscle pump-induced increase in central blood volume	学会発表	2014年5月	61st ACSM Annual Meeting and 5th World Congress on Exercise is Medicine and World Congress on the Role of Inflammation in Exercise, Health and Disease. Indianapolis, Indiana USA	Keisho Katayama, Shin Yamashita, Koji Ishida, Mitsturu Saito, Teruhiko Koike, Shigehiko Ogoh.	
5. 酸素摂取量と循環研究	教育講演	2014年7月	第22回日本運動生理学会大会 川崎医療福祉大学	齊藤満	
6. 呼吸・循環	キートンレクチャー	2014年7月	第22回日本運動生理学会大会 川崎医療福祉大学	齊藤満	
7. 運動と交感神経活動	講義	2014年9月	春日井熟年大学 文化フォーラム春日井	齊藤満	
8. 動的運動時における筋ポンプ作用の増加は筋交感神経活動を抑制する	ポスター発表	2014年9月	第69回日本体力医学会大会 長崎大学	片山敬章, 石田浩司, 齊藤満, 平澤愛, 小池晃彦, 小河繁彦	
9. ウォーキングを考える	講義	2014年9月	愛知学院大学地域連携センター事業 ウォーキングでにしんを活性化 愛知学院大学3105教室	齊藤満	

下村淳子

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 健康診断(学校医等による検診)とは	単著	2014年3月	東山書房, レッツチェック養護教諭の活動の実際		pp.36-37
2. 健康診断(校内で行う検査)とは	単著	2014年3月	東山書房, レッツチェック養護教諭の活動の実際		pp.38-39
3. 健康診断(外部機関による検査)とは	単著	2014年3月	東山書房, レッツチェック養護教諭の活動の実際		pp.40-41
4. 健康診断の事後措置とは	単著	2014年3月	東山書房, レッツチェック養護教諭の活動の実際		pp.42-43
5. 慢性疾患(心臓・腎臓・糖尿病等)を抱える児童生徒への対応とは	単著	2014年3月	東山書房, レッツチェック養護教諭の活動の実際		pp.44-45
6. 校務分掌とは	単著	2014年3月	東山書房, レッツチェック養護教諭の活動の実際		pp.108-109
7. 学校保健委員会とは	単著	2014年3月	東山書房, レッツチェック養護教諭の活動の実際		pp.110-111
8. 児童生徒保健委員会とは	単著	2014年3月	東山書房, レッツチェック養護教諭の活動の実際		pp.112-113
9. 養護実習とは	単著	2014年3月	東山書房, レッツチェック養護教諭の活動の実際		pp.120-121
10. 論の執務に関する引継ぎとは	単著	2014年3月	東山書房, レッツチェック養護教諭の活動の実際		pp.124-125
11. 実践研究とは	単著	2014年3月	東山書房, レッツチェック養護教諭の活動の実際		pp.128-129
12. COLUMN タッチング	単著	2014年3月	東山書房, レッツチェック養護教諭の活動の実際		p.70
13. COLUMN 組織を構成する3要素	単著	2014年3月	東山書房, レッツチェック養護教諭の活動の実際		p.114
14. COLUMN 統計手法	単著	2014年3月	東山書房, レッツチェック養護教諭の活動の実際		p.130
B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1.『自然災害』に遭遇した子どもへの養護教諭の対応	単著	2014年5月	日本健康相談活動学会誌第9巻1号	鈴木薫, 浅田知恵, 五十嵐利恵, 石田妙美, 石原貴代, 今野洋子, 北村米子, 後藤ひとみ, 下村淳子, 阪野きよみ, 松原紀子, 山崎隆恵	pp.57-70
2. 養護教諭による児童生徒に行うタッチに関する研究—タッチする側から捉えた養護教諭の役割—	共著	2014年8月	学校保健研究第56巻第3号	下村淳子, 林典子, 戸田須恵子, 井澤昌子, 石田妙美	pp.199-207

3. 養護教諭をめざす学生を対象とした『養護教諭としての力』を高めるためのサマーセミナーを実施して—東海養護教諭教育研究会100回記念行事—	共著	2014年9月	東海学校保健研究第38巻第1号	村松常司, 梶岡多恵子, 林典子, 下村淳子, 後藤多知子, 鎌塚優子, 城戸裕子, 後藤ひとみ, 福田博美, 大嶽三枝子, 中林恭子, 伊藤美栄子, 安富和子, 田崎勝成, 大野泰子, 永石喜代子, 小林きよ子, 石田妙美, 高橋澄子, 石原貴代, 堀内久美子, 中島節子	pp.111-122
--	----	---------	-----------------	---	------------

D (学会発表等)

演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 児童生徒に対する養護教諭の関わり方に関する研究4—タッチングする側から捉えた実態と課題—	学会発表	2013年11月	第60回日本学校保健学会, 東京	下村淳子, 林典子, 戸田須恵子, 石田妙美, 井澤昌子	
2. 高校生における体育的部活動中の顔面および歯部の負傷発生割合の検討	学会発表	2013年11月	第60回日本学校保健学会, 東京	野々山順也, 森田一三, 下村淳子, 大澤功, 佐藤祐造, 柘植紳平, 中垣晴男	
3. 児童生徒に対する養護教諭の関わり方に関する研究5—保健室来室対応におけるプロセスとタッチングの関係—	学会発表	2014年3月	日本健康相談活動学会第10回学術集会, 岡山	林典子, 戸田須恵子, 下村淳子, 井澤昌子, 石田妙美	
4. 自然災害に遭遇した子どもに対する健康相談活動のあり方	学会発表	2014年3月	日本健康相談活動学会第10回学術集会, 岡山	石原貴代, 鈴木薫, 浅田知恵, 五十嵐利恵, 石田妙美, 今野洋子, 北村米子, 下村淳子, 阪野きよみ, 松原紀子, 山崎隆恵, 後藤ひとみ	
5.	ポスター発表	2014年3月	日本健康相談活動学会第10回学術集会, 岡山		
6. 小学校における入院となる負傷の発生状況とその要因—運動場の遊具使用と負傷・入院との関係—	話題提供	2014年4月	東海学校保健学会学習会, 名古屋		
7. 組織マネジメントと保健室経営	講師	2014年8月	平成26年度愛知県立学校養護教諭10年経験者研修, 名古屋		

水藤弘史

B (論文)

著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. クロール泳におけるフリップ・ターン動作の特徴	共著	2013年11月	日本水泳・水中運動学会 2014年次大会 論文集	桂田健太, 高橋繁浩, 桜井伸二, 水藤弘史, 草薙健太	pp.128-131
2. A novel comparison between standard and new testing procedures to assess shock absorbency of third generation artificial turfs.	共著	2013年12月	Sports engineering, 17.	Hiroyuki Nunome, Kouichiro Inoue, Hironari Shinkai, Rumi Kozakai, Hiroshi Suito, Yasuo Ikegami	pp.103-112

C (翻訳・資料)

著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. なぎなた基本打突(振り上げ面・持ち替え面・持ち替え脛)の動作について	共著	2014年1月	スポーツ医・科学研究 MIE, 21.	水藤弘史, 杉田正明, 中島由美子	pp.13-15

2. なぎなた選手の体力特性について	共著	2014年1月	スポーツ医・科学研究 MIE, 21.	杉田正明, 中島由美子, 水藤弘史, 八木規夫	pp.17-21
3. 第90回日本選手権水泳競技大会 競泳レース分析表	共著	2014年6月	公益財団法人日本水泳 連盟科学委員会	植松梓, 仰木裕嗣, 立正伸, 水藤弘史, 松田有司, 浅井泰詞, 寺西洋平, 生田泰志, 松井健, 高橋篤史, 森誠護, 田坂英郁, 酒井紳, 宝来毅, 賢木友理絵, 大沼勇人, 林勇樹, 田中貴大, 壇野俊, 西谷直樹, 樋口竜也	pp.1-200
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. クロール泳におけるフリップ・ターン動作の特徴	学会発表	2013年11月	2013年日本水泳・水中 運動学会年次大会, 埼玉	桂田健太, 高橋繁浩, 桜井伸二, 水藤弘史, 草薙健太	
2. 競泳キックスタートにおける跳び出し速度と脚筋力との関係について	学会発表	2013年11月	第26回日本トレーニング 科学学会大会, 山形	水藤弘史, 池上康男, 布目寛幸	
3. 競泳スタートの跳び出し動作について	講師	2013年12月	ナショナル強化合宿に おける科学サポート事 業講師(三重県)	水藤弘史	
4. 運動時の呼吸リズム観察への新しい呼吸モニターの応用	学会発表	2014年3月	第18回日本体力医学会 東海地方会, 愛知	齊藤満, 水藤弘史, 佐々木実	
5. Relationship between kick start performance and leg muscle strength in competitive swimming	学会発表	2014年4月, 5月	XIIth International Symposium on Biomechanics and Medicine in Swimming, Canberra / Australian	Hiroshi Suito, Kazumasa Ozeki, Yasuo Ikegami	

## 辰巳 寛

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 文の脳内機構をめぐるいくつかの問題	共著	2013年12月	神経内科 79・5	辰巳寛, 山本正彦, 波多野和夫, 伊藤泰広	(pp.665-672)
2. 維持期リハビリテーションにおける言語聴覚士の役割 —老健での看取りの経験から—	共著	2014年3月	心身科学 6・1	甘利秋月, 辰巳寛, 長縄敏毅, 長縄伸幸, 山本正彦	(pp.15-22)
3. 言語治療に難渋した機能性構音障害による口蓋化構音に関する研究—音声学のおよび音響学的検討—	共著	2014年3月	心身科学 6・1	高津淳, 早川統子, 田中誠也, 浜田広幸, 木村航, 牧野日和, 古川博雄, 杉山裕美, 辰巳寛, 夏目長門, 山本正彦	(pp.23-36)
4. 在宅失語症患者の家族介護者に対する教育的介入効果—予備研究報告—	共著	2014年3月	心身科学 6・1	辰巳寛, 高津淳, 田中誠也, 浜田広幸, 木村航, 杉山裕美, 山本正彦	(pp.37-44)
5. 視床病変による健忘作話症状の経時的変化と機能解剖学的解析に関する研究	共著	2014年3月	心身科学 6・1	浜田広幸, 辰巳寛, 木村航, 田中誠也, 高津淳, 杉山裕美, 山本正彦	(pp.45-54)
6. 在宅における認知症への対応	単著	2014年9月	難病と在宅ケア 20・6	辰巳寛	(pp.39-41)

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 名詞と動詞の喚語能力に解離を認めた超皮質性感覚失語の経時的変化—誤反応分析を中心に—	学会発表	2013年11月	日本高次脳機能障害学会第37回大会(松江)	木村航, 辰巳寛, 藤原正昭, 山本正彦	
2. 左中心前回中部～上部病変により純粋失書を呈した症例	学会発表	2013年11月	日本高次脳機能障害学会第37回大会(松江)	黒崎芳子, 田口里香, 辰巳寛, 波多野和夫	
3. 運動ニューロン疾患を伴う進行性失語症患者に対する発話流暢性評価の実際	学会発表	2013年11月	日本高次脳機能障害学会第37回大会(松江)	山本実, 近藤真巳子, 杉浦実咲, 辰巳寛	
4.	主宰座長	2013年11月	第5回あいち ST 合同リハビリ・カンファレンス(一宮市立市民病院)	辰巳寛	
5. 温故知新—古典的症例から学ぶ— Broca の症例: Leborgne と Lelong	勉強会発表	2013年12月	第2回東海地域若手 ST 勉強会(東海医療科学専門学校)	辰巳寛	
6.	代表世話人	2014年3月	第2回愛知摂食機能障害リハビリカンファレンス	辰巳寛	
7.	主宰座長	2014年4月	第6回あいち ST 合同リハビリ・カンファレンス	辰巳寛	
8. CI 療法に準じた言語治療と積極的な自主訓練により著明改善を来した末梢性顔面神経麻痺の一症例	学会発表	2014年6月	岐阜県言語聴覚士会第2回学術集会(じゅうろくプラザ)	甘利秋月, 阿部忍, 辰巳寛, 長縄敏毅, 長縄伸幸	
9. 遂行機能障害に対するアソブロックを用いた治療介入の効果について	学会発表	2014年6月	愛知県言語聴覚士協会第8回学術集会(ウインク愛知)	森玲子, 辰巳寛	
10. 全身性ジストニア例に対する淡蒼球内節脳深部刺激術後に認められた発話の変化	学会発表	2014年6月	愛知県言語聴覚士協会第8回学術集会(ウインク愛知)	大嶽れい子, 田中康博, 辰巳寛, 渡辺宏久, 榊田道人, 伊藤瑞規, 熱田直樹, 千田譲, 中村亮一, 渡辺はづき, 坪井崇, 原一洋, 梶田泰一, 祖父江元	
11. Posterior cortical atrophy を呈した Alzheimer 型認知症に対する言語療法の実際と課題	学会発表	2014年6月	愛知県言語聴覚士協会第8回学術集会(ウインク愛知)	三宅達也, 辰巳寛, 安井敬三, 宮嶋真理	
12. Blowing 法は呼吸訓練として本当に十分なのか?	学会発表	2014年6月	愛知県言語聴覚士協会第8回学術集会(ウインク愛知)	田中康博, 辰巳寛, 渡辺宏久, 榊田道人, 伊藤瑞規, 熱田直樹, 千田譲, 中村亮一, 渡辺はづき, 坪井崇, 原一洋, 梶田泰一, 祖父江元	
13. 遂行機能障害に対するアソブロックを用いた治療介入の効果について	学会発表	2014年6月	日本言語聴覚学会第15回大会(大宮)	森玲子, 辰巳寛	
14. Repetitive speech phenomena が特定の音に観察された PSP の一例	学会発表	2014年6月	日本言語聴覚学会第15回大会(大宮)	村瀬友一, 辰巳寛, 田中康博	
15. 言語聴覚士国家試験出題問題に関する検討 第3報 —口蓋裂言語	学会発表	2014年6月	日本言語聴覚学会第15回大会(大宮)	早川統子, 井上知佐子, 森智子, 岩田陸代, 相原喜子, 牧野日和, 古川博雄, 辰巳寛, 山本正彦, 新美照幸, 南克浩, 井村英人, 加藤大貴, 夏目長門, 片山和男	

16. 視床下核脳深部刺激術後のパーキンソン病患者の構音運動	学会発表	2014年6月	日本語聴覚学会第15回大会(大宮)	田中康博, 辰巳寛, 渡辺宏久, 榊田道人, 伊藤瑞規, 熱田直樹, 千田譲, 中村亮一, 渡辺はづき, 坪井崇, 原一洋, 梶田泰一, 祖父江元	
17. 淡蒼球内節脳深部刺激術を施行した全身性ジストニア例における発話の変化	学会発表	2014年6月	日本語聴覚学会第15回大会(大宮)	大嶽れい子, 田中康博, 辰巳寛, 渡辺宏久, 榊田道人, 伊藤瑞規, 熱田直樹, 千田譲, 中村亮一, 渡辺はづき, 坪井崇, 原一洋, 梶田泰一, 祖父江元	
18. 高次脳機能障害：生活支援	座長	2014年6月	日本語聴覚学会第15回大会(大宮)	辰巳寛	
19. 急性期脳卒中患者における摂食・嚥下機能障害の予後要因の検討～第1報～	学会発表	2014年9月	日本嚥下摂食リハビリテーション学会第20回学術大会(東京)	宇佐美康子, 杉浦美樹, 奥村一仁, 尾崎式美, 三宅達也, 辰巳寛, 関行雄, 安井敬三	

## 玉川達雄

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 子どもの体力の現状と課題	共著	2014年9月	東海学校保健研究第38巻 1号	松原紀子, 玉川達雄	pp.11-23
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 一般演題 ポスター「糖尿病療養指導(自己注射2)」	司会	2014年5月	第57回日本糖尿病学会, 大阪	玉川達雄	
2. アルコール・薬物・熱中症等への対策	講習会	2014年6月	平成26年度学生のための安全管理講習会	玉川達雄	

## 外ノ池隆史

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 愛知学院大学日進キャンパスにおける受動喫煙防止支援～7年間の取り組みとその成果～〔査読付〕	共著	2014年3月	東海公衆衛生雑誌2(1)	糠谷敬子, 森山恭子, 北村洋子, 宇野智子, 外ノ池隆史	pp.89-93
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 「ストレスと健康」	講演会	2013年12月	愛知学院大学「いきいき健康カレッジ」	外ノ池隆史	
2. 心の問題を抱えた学生の復学支援を考える(第3報)～休学者相談週刊の試み～	学会	2013年11月	第51回全国大学保健管理研究集会	前田章, 外ノ池隆史, 糠谷敬子, 森山恭子, 横木由美子, 高柳裕子, 大澤功	
3. 保健センターにおける受動喫煙防止支援～6年間の活動と学内変化～	学会	2013年11月	第51回全国大学保健管理研究集会	糠谷敬子, 外ノ池隆史, 森山恭子, 宇野智子, 北村洋子, 前田章, 大澤功	



## 内藤正和

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 児童の肥満および痩身の実態と生活習慣との関連	共著	2014年3月	愛知学院大学心身科学研究所紀要心身科学第6巻1号	酒井映子, 森岡亜有, 内藤正和, 末田香里, 佐藤祐造	pp.99-108
2. 企業スポーツチームの地域貢献活動に対する意識とニーズに関する研究	単著	2014年3月	愛知学院大学心身科学研究所紀要心身科学第6巻1号		pp.125-132
3. 健康行動継続のための短期的支援の有効性について—生活習慣病予防教室を対象として—	共著	2014年12月	愛知学院大学心身科学部紀要第10号	服部雅人, 内藤正和, 小林亮平, 水藤弘史, 池山将成, 荒川聡美, 渡邊智之, 齊藤満, 佐藤祐造	pp.29-39
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 行政と企業スポーツチームの協働に関する研究	学会発表	2013年12月	日本体育・スポーツ政策学会第23回大会, 筑波大学	内藤正和	
2. 世論調査結果の報告	講演	2013年12月	第7回刈谷市ホームタウンパートナー連絡会	内藤正和	
3. 目標設定・課題解決・計画	講義	2014年2月	第44回愛知学院大学リーダーシップトレーニング	内藤正和	
4. 自分の身体を知ろう	講義	2014年3月	愛知学院大学スポーツ推薦入学者オリエンテーション	内藤正和, 水藤弘史	
5. 地域貢献活動の効果, ボランティアの活用	講演	2014年3月	第8回刈谷市ホームタウンパートナー連絡会	内藤正和	
6. スポーツにおける集客戦略について	講演	2014年6月	第9回刈谷市ホームタウンパートナー連絡会	内藤正和	

## 長崎 大

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 防風通聖散が Otsuka Long-Evans Tokushima Fatty (OLETF) ラットのインスリンシグナル伝達系のタンパク量に及ぼす影響	共著	2013年3月	愛知学院大学心身科学研究所紀要 Vol.5, No.1	小林亮平, 庄秋栄, 長崎大, 宇野智子, 佐藤祐造	pp.17-22
2. Molecular signaling mechanisms that mediate exercise training effects on insulin sensitivity.<Invited review>	(共著)	2013年3月	The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine: Vol.2, No.1	Nagasaki Masaru, Shimomura Yoshiharu, and Sato Yuzo.	pp.117-119
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 医歯薬看心身系の大学連携による生活習慣病予防教室の効果 —第4回東名古屋健康カレッジ—	学会発表	2013年3月	第17回日本体力医学会東海地方会学術大会, 名古屋	服部雅人, 内藤正和, 小林亮平, 池山将成, 水藤弘史, 長崎大, 齊藤満, 佐藤祐造	

早川統子

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. Diagnostic/genetic screening - approach for genetic diagnoses and prevention of cleft lip and/or palate.	共著	2014年 9 月	Chin J Dent Res. 16(2)	Natsume Nagato, Kato Tomoki, Hayakawa Toko, Imura Hideto	pp.95-100
2. 言語治療に難渋した機能性構音障害による口蓋化構音に関する研究 ―音声学および音響学的検討―	共著	2014年 3 月	心身科学. 6(1)	高津淳, 早川統子, 田中誠也, 浜田広幸, 木村航, 牧野日和, 古川博雄, 杉山裕美, 辰巳寛, 夏目長門, 山本正彦	pp.23-36
3. 視床病変による健忘・作話症状の経時的変化と機能解剖学的解析に関する研究	共著	2014年 3 月	心身科学. 6(1)	浜田広幸, 辰巳寛, 木村航, 高津淳, 田中誠也, 杉山裕美, 早川統子, 牧野日和, 山本正彦	pp.45-53
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 腹話術技法を応用した構音訓練の実用化に向けた研究 第1報 ―予備調査：腹話術における発語明瞭度―	学会 発表	2014年 5 月	第38回日本口蓋裂学会 総会・学術集会(札幌)	早川統子, 井上知佐子, 森智子, 相原喜子, 岩田睦代, 牧野日和, 鈴木聡, 夏目長門	
2. 能力開発と口蓋裂言語治療を組み合わせた早期言語訓練システム 第2報 一家族の満足度等の評価―	学会 発表	2014年 5 月	第38回日本口蓋裂学会 総会・学術集会(札幌)	早川統子, 井上知佐子, 森智子, 相原喜子, 岩田睦代, 牧野日和, 井村英人, 夏目長門	
3. 遠隔言語訓練による口蓋裂言語への言語訓練 第5報 ―VCFS 患者に対する訓練経験―	学会 発表	2014年 5 月	第38回日本口蓋裂学会 総会・学術集会(札幌)	早川統子, 井上知佐子, 森智子, 相原喜子, 岩田睦代, 牧野日和, 新美照幸, 南克浩, 古川博雄, 井村英人, 加藤大貴, 鈴木聡, 片山和男, 夏目長門	
4. Van der Woude 症候群に関する基礎的臨床的研究 第3報 ―言語評価―	学会 発表	2014年 5 月	第38回日本口蓋裂学会 総会・学術集会(札幌)	早川統子, 大野磨弥, 加藤大貴, 井上知佐子, 森智子, 相原喜子, 岩田睦代, 牧野日和, 松川良平, 外山佳孝, 夏目長門	
5. 言語聴覚士国家試験出題問題に関する検討 第1報 ―口蓋裂言語に関する問題―	学会 発表	2014年 5 月	第38回日本口蓋裂学会 総会・学術集会(札幌)	早川統子, 牧野日和, 古川博雄, 夏目長門	
6. 言語聴覚士国家試験出題問題に関する検討 第3報 ―口蓋裂言語―	学会 発表	2014年 6 月	第15回日本言語聴覚学 会(埼玉)	早川統子, 牧野日和, 古川博雄, 辰巳寛, 夏目長門, 山本正彦	
7. 言語聴覚士国家試験出題問題に関する検討 第2報 ―摂食・嚥下領域の調査―	学会 発表	2014年 6 月	第15回日本言語聴覚学 会(埼玉)	牧野日和, 早川統子, 瀬戸千尋, 小林季実子, 植田千里, 山本正彦	
8. 遠隔言語訓練による口蓋裂言語への言語訓練 第6報 ―VCFS 患者に対する訓練経験―	学会 発表	2014年 7 月	日本先天異常学会第54 回学術集会(神奈川)	早川統子, 山本正彦, 井上知佐子, 森智子, 相原喜子, 牧野日和, 新美照幸, 南克浩, 古川博雄, 井村英人, 加藤大貴, 鈴木聡, 大野磨弥, 森明弘, 佐久間千里, 山内楓子, 片山和男, 夏目長門	

9. 幼児の構音指導入門	講演	2014年 8月	岐阜市子ども・若者総合支援センター幼児支援教室指導者養成研修	早川統子	
--------------	----	----------	--------------------------------	------	--

## 古川博雄

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 言語治療に難渋した機能性構音障害による口蓋化構音に関する研究 —音声学的および音響学的検討—	共著	2014年 3月	心身科学, 6(1)	高津淳, 早川統子, 田中誠也, 浜田広幸, 木村航, 牧野日和, 古川博雄, 杉山裕美, 辰巳寛, 夏目長門, 山本正彦	pp.23-36
2. 両側性口唇口蓋裂を伴った18p モノソミーの1例	共著	2014年 3月	日本口腔外科学会雑誌, 60(3)	加藤大貴, 古川博雄, 新美照幸, 鈴木聡, 外山佳孝, 夏目長門	pp.147-150
3. 声門下気道狭窄を認めた口唇顎裂患者の1例	共著	2014年 4月	日本口蓋裂学会雑誌, 39(1)	井村英人, 新美照幸, 藤原久美子, 南克浩, 古川博雄, 加藤大貴, 森明弘, 大野磨弥, 原田純, 夏目長門	pp.41-45
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 遠隔言語訓練による口蓋裂言語への言語訓練 Van der Woude 症候群に関する基礎的臨床的研究(第2報)(第5報) 10症例の中間評価	学会発表	2014年 5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術集会(札幌)	大野磨弥, 太田亨, 新美照幸, 南克浩, 古川博雄, 藤原久美子, 井村英人, 早川統子, 長瀬好和, 加藤大貴, 森明弘, 夏目長門	
2. 口唇・口蓋裂患者に関する疫学的研究(第56報) 東海地区における2012年の本症患者出生調査報告	学会発表	2014年 5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術集会(札幌)	井村英人, 藤原久美子, 吉田和加, 加藤大貴, 鈴木聡, 古川博雄, 南克浩, 新美照幸, 森明弘, 夏目長門	
3. Cohen 症候群1例	学会発表	2014年 5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術集会(札幌)	加藤大貴, 古川博雄, 井上知佐子, 井村英人, 南克浩, 外山佳孝, 早川統子, 相原喜子, 夏目長門	
4. 歌舞伎症候群(第5報) 外科的矯正治療を回避し補綴治療にて良好な咬合改善が得られた1例	学会発表	2014年 5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術集会(札幌)	加藤大貴, 永縄貴, 船曳信行, 古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 外山佳孝, 夏目長門	
5. 歌舞伎症候群の臨床的研究(第4報) 鼻咽腔閉鎖機能を中心として	学会発表	2014年 5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術集会(札幌)	加藤大貴, 井上知佐子, 斎藤直樹, 森智子, 岩田睦代, 早川統子, 牧野日和, 古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 村田幸枝, 太田亨, 夏目長門	

6. 歌舞伎症候群(第3報) 鼻咽腔ファイバースコープ所見について	学会発表	2014年5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術集会(札幌)	加藤大貴, 齋藤直樹, 古川博雄, 井村英人, 新美照幸, 南克浩, 外山佳孝, 芝崎龍典, 早川統子, 相原喜子, 岩田睦代, 村田幸枝, 太田亨, 夏目長門	
7. 歌舞伎症候群の臨床的研究(第2報) 口腔内所見を中心として	学会発表	2014年5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術集会(札幌)	加藤大貴, 太田亨, 古川博雄, 村田幸枝, 井村英人, 南克浩, 新美照幸, 芝崎龍典, 長瀬好和, 森明弘, 大野磨弥, 夏目長門	
8. 歌舞伎症候群(第1報) 歌舞伎症候群の責任遺伝子解析を中心として	学会発表	2014年5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術集会(札幌)	加藤大貴, 太田亨, 吉浦孝一郎, 古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 村田幸枝, 鈴木聡, 井村英人, 夏目長門	
9. 口唇口蓋裂患者とその家族に対する遺伝カウンセリングの現状(第4報) 2013年度成果報告	学会発表	2014年5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術集会(札幌)	井村英人, 藤原久美子, 鈴木聡, 古川博雄, 南克浩, 新美照幸, 加藤大貴, 大野磨弥, 森明弘, 片山和男, 夏目長門	
10. 口唇・口蓋裂患者に関する疫学的研究(第57報) 東海地区における2012年の先天異常中の口唇口蓋裂の発現比率	学会発表	2014年5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術集会(札幌)	井村英人, 藤原久美子, 吉田和加, 加藤大貴, 鈴木聡, 古川博雄, 南克浩, 新美照幸, 森明弘, 大野磨弥, 夏目長門	
11. 口唇口蓋裂手術が顎発育に与える影響(第一報) 片側性口唇口蓋裂患者の顎発育について	学会発表	2014年5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術集会(札幌)	森明弘, 井村英人, 芝崎龍典, 新美照幸, 古川博雄, 南克浩, 藤原久美子, 鈴木聡, 齋藤直樹, 外山佳孝, 石川拓, 加藤大貴, 早川統子, 大野磨弥, 増田浩男, 夏目長門	
12. 両側口唇口蓋裂患者における突出したpremaxillaに対するアプローチ	学会発表	2014年5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術集会(札幌)	井村英人, 増田浩男, 南克浩, 古川博雄, 新美照幸, 夏目長門	
13. 愛知学院大学口唇口蓋裂センターにおける口腔ケア介入の実態調査(第2報) 顎裂部骨移植前の口腔内について	学会発表	2014年5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術集会(札幌)	井村英人, 八木真里奈, 新美照幸, 南克浩, 古川博雄, 鈴木聡, 藤原久美子, 加藤大貴, 大野磨弥, 森明弘, 夏目長門	
14. Van der Woude 症候群に関する疫学的研究(第1報) 疫学調査	学会発表	2014年5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術集会(札幌)	大野磨弥, 栗田賢一, 吉田憲司, 早川統子, 長瀬好和, 加藤大貴, 新美照幸, 南克浩, 古川博雄, 藤原久美子, 井村英人, 森明弘, 夏目長門	
15. EEC 症候群の2例	学会発表	2014年5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術集会(札幌)	加藤大貴, 古川博雄, 井村英人, 新美照幸, 南克浩, 外山佳孝, 夏目長門	

16. 口唇口蓋裂を合併した Sotos 症候群の 1 例	学会 発表	2014年 5 月	第38回日本口蓋裂学会 総会・学術集会(札幌)	加藤大貴, 古川博雄, 井村英人, 新美照幸, 南克浩, 杉山成司, 佐藤孝至, 夏目長門	
17. Opitz 症候群の 1 例	学会 発表	2014年 5 月	第38回日本口蓋裂学会 総会・学術集会(札幌)	古川博雄, 加藤大貴, 新美照幸, 南克浩, 井村英人, 石川拓, 外山佳孝, 芝崎龍典, 長瀬好和, 松川良平, 森明弘, 大野磨弥, 早川統子, 牧野日和, 井上知佐子, 森智子, 岩田睦代, 相原喜子, 夏目長門	
18. Zimmermann-Laband 症候群の 1 例	学会 発表	2014年 5 月	第38回日本口蓋裂学会 総会・学術集会(札幌)	加藤大貴, 井村英人, 古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 杉山成司, 佐藤孝至, 鈴木聡, 夏目長門	
19. モンゴルにおける医療協力と学術調査 報告(第2報) 2013年調査報告	学会 発表	2014年 5 月	第38回日本口蓋裂学会 総会・学術集会(札幌)	夏目長門, 吉田和加, 永田映里佳, 越路千佳子, 浅野和宏, 土肥豊, 泉さや香, 古川博雄, 鈴木聡, 加藤大貴, 早川統子, 今井裕, 香月武	
20. 口唇・口蓋裂児と両親に対する計量心 理学的研究(第9報) 悩みの相談調査報告	学会 発表	2014年 5 月	第38回日本口蓋裂学会 総会・学術集会(札幌)	夏目長門, 早川統子, 古川博雄, 井村英人, 加藤大貴, 菅原利夫, 片山和男	
21. 言語聴覚士国家試験出題問題に関する 検討(第1報) 口蓋裂言語に関する問題	学会 発表	2014年 5 月	第38回日本口蓋裂学会 総会・学術集会(札幌)	早川統子, 牧野日和, 古川博雄, 夏目長門	
22. 能力開発と口蓋裂言語治療を組み合わ せた早期言語訓練システム(第2報) 家族 の満足度等の評価	学会 発表	2014年 5 月	第38回日本口蓋裂学会 総会・学術集会(札幌)	早川統子, 井上知佐子, 森智子, 相原喜子, 岩田睦代, 牧野日和, 井村英人, 古川博雄, 夏目長門	
23. 口蓋裂言語に対する一般人の認知に関 する研究(第8報)	学会 発表	2014年 5 月	第38回日本口蓋裂学会 総会・学術集会(札幌)	牧野日和, 早川統子, 古川博雄, 相原喜子, 井上知佐子, 森智子, 岩田睦代, 片山和男, 山本正彦, 夏目長門	
24. 口蓋裂言語に対する一般人の認知に関 する研究(第7報) 声門破裂音における終 助詞表現による音声印象	学会 発表	2014年 5 月	第38回日本口蓋裂学会 総会・学術集会(札幌)	相原喜子, 早川統子, 井上知佐子, 森智子, 牧野日和, 岩田睦代, 藤原久美子, 井村英人, 古川博雄, 新美照幸, 片山和男, 夏目長門	
25. 口蓋裂言語に対する一般人の認知に関 する研究(第6報) 呼気鼻漏出による子音 の歪みにおける音声印象	学会 発表	2014年 5 月	第38回日本口蓋裂学会 総会・学術集会(札幌)	相原喜子, 早川統子, 井上知佐子, 森智子, 牧野日和, 岩田睦代, 藤原久美子, 井村英人, 古川博雄, 新美照幸, 片山和男, 夏目長門	

26. 遠隔言語訓練による口蓋裂言語への言語訓練(第5報) VCFS 患者に対する訓練実施経験	学会発表	2014年5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術集会(札幌)	早川統子, 井上知佐子, 森智子, 相原喜子, 岩田睦代, 牧野日和, 新美照幸, 南克浩, 古川博雄, 井村英人, 加藤大貴, 鈴木聡, 片山和男, 夏目長門	
27. Double Z による Cupid's bow 手術(第1報) 両側裂症例を中心にして	学会発表	2014年5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術集会(札幌)	井村英人, 夏目長門, 大野磨弥, 新美照幸, 古川博雄, 藤原久美子, 森明弘, 加藤大貴, 鈴木聡, 外山佳孝, 河合幹	
28. 初回口唇形成術における外鼻形成時の我々の工夫	学会発表	2014年5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術集会(札幌)	井村英人, 夏目長門, 新美照幸, 古川博雄, 藤原久美子	
29. 皮膚剥削術とメディカルコスメティックを用いた口唇裂術後瘢痕のケア	学会発表	2014年5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術集会(札幌)	新美照幸, 古川博雄, 鈴木聡, 夏目長門	
30. 口腔先天異常に関する遺伝子研究(第2報) 2013年遺伝子バンキングシステム成果報告	学会発表	2014年5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術集会(札幌)	夏目長門, 吉田和加, 古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 井村英人, 鈴木聡, 早川統子, 加藤大貴, 大野磨弥, 森明弘, 越路千佳子, 後藤尊広, 砂川元, 新崎章, 森悦秀	
31. 言語聴覚士国家試験出題問題に関する検討(第3報) 口蓋裂言語	学会発表	2014年6月	第15回日本言語聴覚学会(埼玉)	早川統子, 牧野日和, 古川博雄, 辰巳寛, 山本正彦, 夏目長門	
32. 言語治療に難渋した機能性構音障害による口蓋化構音の一例	学会発表	2014年6月	第16回日本言語聴覚学会(埼玉)	高津淳, 早川統子, 井上知佐子, 森智子, 牧野日和, 杉山裕美, 古川博雄, 山本正彦, 夏目長門	
33. 遠隔言語訓練による口蓋裂言語への言語訓練 第6報 —VCFS 患者に対する訓練経験—	学会発表	2014年7月	日本先天異常学会第54回学術集会(神奈川)	早川統子, 山本正彦, 井上知佐子, 森智子, 相原喜子, 牧野日和, 新美照幸, 南克浩, 古川博雄, 井村英人, 加藤大貴, 鈴木聡, 大野磨弥, 森明弘, 佐久間千里, 山内楓子, 片山和男, 夏目長門	

## 牧野日和

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 「口から食べる」を支えるケア：口の機能を維持させよう	単著	2013年10月	中央法規出版, おはよう21 12月号	牧野日和	pp.62-65
2. 「口から食べる」を支えるケア：生きる力を維持させよう	単著	2013年11月	中央法規出版, おはよう21 1月号	牧野日和	pp.62-65
3. 「口から食べる」を支えるケア：口の動きをとりもどす	単著	2013年12月	中央法規出版, おはよう21 2月号	牧野日和	pp.62-65
4. 「口から食べる」を支えるケア：のどの動きを取りもどそう	単著	2014年1月	中央法規出版, おはよう21 3月号	牧野日和	pp.64-67

5. 「口から食べる」を支えるケア：胃ろうから常食へチーム力でとりもどす	単著	2014年2月	中央法規出版, おはよう21 4月号	牧野日和	pp.64-67
6. 「口から食べる」を支えるケア：みとり期は命を学ぶ機会	単著	2014年3月	中央法規出版, おはよう21 5月号	牧野日和	pp.64-67
7. 「口から食べる」を支えるケア：最期に母の手料理を	単著	2014年4月	中央法規出版, おはよう21 6月号	牧野日和	pp.64-67
8. 「口から食べる」を支えるケア：最期は母さんらしく ～きっかけは羊羹から	単著	2014年5月	中央法規出版, おはよう21 7月号	牧野日和	pp.64-67
9. 「口から食べる」を支えるケア：お食い締めがもたらす効果	単著	2014年6月	中央法規出版, おはよう21 8月号	牧野日和	pp.64-67
10. 「口から食べる」を支えるケア：みとり期は命を学ぶ機会	単著	2014年7月	中央法規出版, おはよう21 9月号	牧野日和	pp.64-67

B (論 文)

著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 言語治療に難渋した機能性構音障害による口蓋化構音に関する研究 音声学のおよび音響学的検討	共著	2014年3月	愛知学院大学心身科学研究所紀要「心身科学」6巻1号	高津淳, 早川統子, 田中誠也, 浜田広幸, 木村航, 牧野日和, 古川博雄, 杉山裕美, 辰巳寛, 夏目長門, 山本正彦	pp.23-36
2. 視床病変による健忘・作話症状の継時的変化と機能解剖学的解析に関する研究	共著	2014年3月	愛知学院大学心身科学研究所紀要「心身科学」6巻1号	浜田広幸, 辰巳寛, 木村航, 高津淳, 田中誠也, 杉山裕美, 早川統子, 牧野日和, 山本正彦	pp.45-54

D (学会発表等)

演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 遠隔言語訓練による口蓋裂言語への言語訓練 第5報 VCFS 患者に対する訓練実施経験	学会発表	2014年5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 札幌	早川統子, 井上知佐子, 森智子, 相原喜子, 岩田睦代, 牧野日和, 新美照幸, 南克浩, 古川博雄, 井村英人, 加藤大貴, 鈴木聡, 片山和男, 夏目長門	
2. 口蓋裂言語に対する一般人の認知に関する研究 第6報呼吸気漏出による子音の歪みにおける音声印象	学会発表	2014年5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 札幌	相原喜子, 早川統子, 井上知佐子, 森智子, 牧野日和, 岩田睦代, 藤原久美子, 井村英人, 古川博雄, 新美照幸, 片山和男, 夏目長門	
3. 口蓋裂言語に対する一般人の認知に関する研究 第7報声門破裂音における終助詞表現による音声印象	学会発表	2014年5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 札幌	相原喜子, 早川統子, 井上知佐子, 森智子, 牧野日和, 岩田睦代, 藤原久美子, 井村英人, 古川博雄, 新美照幸, 片山和男, 夏目長門	
4. 口蓋裂言語に対する一般人の認知に関する研究 第8報	学会発表	2014年5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 札幌	牧野日和, 早川統子, 古川博雄, 相原喜子, 井上知佐子, 森智子, 岩田睦代, 片山和男, 山本正彦, 夏目長門	
5. 能力開発と口蓋裂言語治療を組み合わせた早期言語訓練システム 第2報家族の満足度等の評価	学会発表	2014年5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 札幌	早川統子, 井上知佐子, 森智子, 相原喜子, 岩田睦代, 牧野日和, 井村英人, 古川博雄, 夏目長門	

6. 言語聴覚士国家試験出題基準に関する検討 第1報口蓋裂言語に関する問題	学会発表	2014年5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 札幌	早川統子, 牧野日和, 古川博雄, 夏目長門	
7. 腹話術技法を応用した構音訓練の実用化に向けた研究 第1報 一予備調査: 腹話術における発語明瞭度一	学会発表	2014年5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 札幌	早川統子, 井上知佐子, 森智子, 相原喜子, 岩田睦代, 牧野日和, 鈴木聡, 夏目長門	
8. Van der Woude 症候群に関する基礎的臨床的研究 第3報	学会発表	2014年5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 札幌	早川統子, 大野磨弥, 加藤大貴, 井上知佐子, 森智子, 相原喜子, 岩田睦代, 牧野日和, 松川良平, 外山佳孝, 夏目長門	
9. 吹き返しを利用した呼気測定器による鼻咽腔閉鎖機能評価の可能性に関する研究 第1報市販の吹き返しの再現性	学会発表	2014年5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 札幌	岩田睦代, 井上知佐子, 森智子, 早川統子, 相原喜子, 牧野日和, 井村英人, 鈴木聡, 加藤大貴, 松川良平, 大野磨弥, 森明弘, 夏目長門	
10. Opitz 症候群の一例	学会発表	2014年5月	第38回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 札幌	古川博雄, 加藤大貴, 新美照幸, 南克浩, 井村英人, 石川拓, 外山佳孝, 芝崎龍典, 長瀬好和, 松川良平, 森明浩, 大野磨弥, 早川統子, 牧野日和, 井上知佐子, 森智子, 岩田睦代, 相原喜子, 夏目長門	
11. 口腔ケアによる口腔機能・精神機能の改善効果に関する研究	学会発表	2014年6月	第11回日本口腔ケア学会総会・学術大会, 旭川	井村英人, 牧野日和, 早川統子, 年盛満恵, 瀬戸千尋, 相原喜子, 外山佳孝, 鈴木俊夫, 夏目長門	
12. 言語聴覚士による口腔ケア 実態調査	学会発表	2014年6月	第11回日本口腔ケア学会総会・学術大会, 旭川	牧野日和	
13. 言語聴覚士が行う口腔ケア	座長	2014年6月	第11回日本口腔ケア学会総会・学術大会, 旭川	牧野日和, 熊倉勇美	
14. 言語聴覚士国家試験出題問題に関する検討 第2報 一摂食・嚥下領域の調査一	学会発表	2014年6月	第15回日本言語聴覚学会総会・学術大会, 大宮	牧野日和, 早川統子, 瀬戸千尋, 小林季実子, 植田千里, 山本正彦	
15. 言語聴覚士国家試験出題問題に関する検討 第3報 一口蓋裂言語一	学会発表	2014年6月	第15回日本言語聴覚学会(埼玉)	早川統子, 牧野日和, 古川博雄, 辰巳寛, 夏目長門, 山本正彦	
16. 食事形態の選択が難しい方の対応の仕方	講演	2014年6月	第3回西ノ宮福祉用具体験会, 西宮	牧野日和	
17. むせる方への対応の仕方	講演	2014年6月	第3回西ノ宮福祉用具体験会, 西宮	牧野日和	
18. 食事が進まない方の対応の仕方	講演	2014年6月	第3回西ノ宮福祉用具体験会, 西宮	牧野日和	
19. 摂食嚥下のアセスメントと評価 適切な食事形態の選択と具体的方法	講演	2014年7月	医療法人清水会研修会, 名古屋	牧野日和	



20. 遠隔言語訓練による口蓋裂言語への言語訓練 第6報 —VCFS 患者に対する訓練経験—	学会発表	2014年7月	日本先天異常学会第54回学術集会(神奈川)	早川統子, 山本正彦, 井上知佐子, 森智子, 相原喜子, 牧野日和, 新美照幸, 南克浩, 古川博雄, 井村英人, 加藤大貴, 鈴木聡, 大野磨弥, 森明弘, 佐久間千里, 山内楓子, 片山和男, 夏目長門	
21. 口から食べるを支えるケア	講演	2014年8月	メディカル・ケア・サービス株式会社研修会, 名古屋	牧野日和	
22. 口から食べるを支えるケア	講演	2014年8月	介和の会, 半田市	牧野日和	
23. 口から食べるを支えるケア 摂食嚥下障害者への支援法	講演	2014年8月	地域医療福祉講演会, 岡山	牧野日和	
24. 摂食嚥下のアセスメントと評価 適切な食事形態の選択と具体的方法②	講演	2014年8月	医療法人清水会研修会, 豊明市	牧野日和	
25. 口から食べるを支えるケア	講演	2014年9月	平成26年度道東三地区老施協研修会, 釧路市	牧野日和	
26. 最期まで口から食べるを支えるケア お食い締めの効果	講演	2014年9月	西宮福祉用具体験会講演会, 西宮	牧野日和	

## 山本正彦

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. Tongue pressure as a novel biomarker of spinal and bulbar muscular atrophy.	共著	2014年1月	Neurology; 82(3)	Mano T, Katsuno M, Banno H, Suzuki K, Suga N, Hashizume A, Araki A, Watanabe H, Tanaka S, Yamamoto M, Sobue G	pp.255-62
2. Distinct acoustic features in spinal and bulbar muscular atrophy patients with laryngospasm.	共著	2014年2月	J Neurol Sci; 337(1-2)	Tanaka S, Banno H, Katsuno M, Suzuki K, Suga N, Hashizume A, Mano T, Araki A, Watanabe H, Adachi H, Tatsumi H, Yamamoto M, Sobue G.	pp.193-200
3. Brugada syndrome in spinal and bulbar muscular atrophy	共著	2014年5月	Neurology; 82(20)	Araki A, Katsuno M, Suzuki K, Banno H, Suga N, Hashizume A, Mano T, Hijikata Y, Nakatsuji H, Watanabe H, Yamamoto M, Makiyama T, Ohno S, Fukuyama M, Morimoto S, Horie M, Sobue G.	pp.1813-21

4. Paeoniflorin eliminates a mutant AR via NF-YA-dependent proteolysis in spinal and bulbar muscular atrophy	共著	2014年 7 月	Hum Mol Genet; 23(13)	Tohnai G, Adachi H, Katsuno M, Doi H, Matsumoto S, Kondo N, Miyazaki Y, Iida M, Nakatsuji H, Qiang Q, Ding Y, Watanabe H, Yamamoto M, Ohtsuka K, Sobue G.	pp.3552-65
5. Pioglitazone suppresses neuronal and muscular degeneration caused by polyglutamine-expanded androgen receptors.	共著	2014年 8 月	Hum Mol Genet. 2014 Aug 28. pii: ddu445.	Iida M, Katsuno M, Nakatsuji H, Adachi H, Kondo N, Miyazaki Y, Tohnai G, Ikenaka K, Watanabe H, Yamamoto M, Kishida K, Sobue G.	Epub ahead of print
6. Voice Features of Parkinson's Disease Patients Who Have Undergone Subthalamic Nucleus Deep Brain Stimulation	共著	in press	J Neurol.	Tanaka Y, Tsuboi T, Watanabe H, Kajita Y, Fujimoto Y, Oodake R, Yoneyama T, Masuda M, Hara K, Senda J, Ito M, Atsuta N, Horiguchi T, Yamamoto M, Sobue G	
7. Distinct phenotypes of speech and voice disorders in Parkinson's disease after subthalamic nucleus deep brain stimulation	共著	in press	J Neurol Neurosurg Psychiatry.	Tsuboi T, Watanabe H, Tanaka Y, Ohdake R, Yoneyama N, Hara K, Nakamura R, Watanabe H, Senda J, Atsuta N, Ito M, Hirayama M, Yamamoto M, Fujimoto Y, Kajita Y, Wakabayashi T, Sobue G.	
8. Potential therapeutic targets in polyglutamine-mediated diseases	共著	in press	Expert Rev Neurother.	Katsuno M, Watanabe H, Yamamoto M, Sobue G.	
9. 文レベルの処理をめぐるいくつかの話題	共著	2013年11月	神経内科79(5)	辰巳寛, 山本正彦, 波多野和夫, 伊藤泰広	pp.665-672
10. 維持期リハビリテーションにおける言語聴覚士の役割 老健での看取りの経験から	共著	2014年 3 月	心身科学 6 卷 1 号	甘利秋月, 辰巳寛, 長縄敏毅, 長縄伸幸, 山本正彦	pp.15-22
11. 在宅失語症患者の家族介護者に対する教育的介入効果 予備研究報告	共著	2014年 3 月	心身科学 6 卷 1 号	辰巳寛, 田中誠也, 杉山裕美, 高津淳, 浜田広幸, 木村航, 山本正彦	pp.37-44

D (学会発表等)

演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 名詞と動詞の喚語能力に解離を認めた超皮質性感覚失語の経時的変化	学会発表	2013年11月	第37回日本高次脳機能障害学会学術総会, 松江	木村航, 辰巳寛, 山本正彦	
2. 髄膜腫術後の顔面筋麻痺への ST との連携アプローチ	学会発表	2014年 5 月	第49回日本理学療法学術大会, 横浜	横井孝, 田中誠也, 窪浩治, 高見修治, 山本正彦	

3. 球脊髄性筋萎縮症患者の構音・嚥下障害に対する軟口蓋上装置の効果	学会発表	2014年5月	第55回日本神経学会学術大会, 福岡	橋詰淳, 勝野雅央, 坂野晴彦, 鈴木啓介, 須賀徳明, 眞野智生, 荒木周, 土方靖浩, 田中誠也, 山本正彦, 祖父江元
4. 球脊髄性筋萎縮症における laryngospasm の言語聴覚学的・音響学的検討	学会発表	2014年5月	第55回日本神経学会学術大会, 福岡	田中誠也, 坂野晴彦, 勝野雅央, 鈴木啓介, 須賀徳明, 橋詰淳, 眞野智生, 荒木周, 山本正彦, 祖父江元
5. 視床下核脳深部刺激術後のパーキンソン病患者の構音運動	学会発表	2014年6月	第15回日本言語聴覚学会, 大宮	田中康博, 渡辺宏久, 坪井崇, 大嶽れい子, 榎他道人, 千田譲, 伊藤瑞規, 熱田直樹, 米山典孝, 梶田泰一, 山本正彦, 辰巳寛, 祖父江元
6. 言語聴覚士国家試験出題問題に関する検討 第3報	学会発表	2014年6月	第15回日本言語聴覚学会, 大宮	早川統子, 牧野日和, 古川博雄, 辰巳寛, 山本正彦, 夏目長門
7. 言語聴覚士国家試験出題問題に関する検討 第2報	学会発表	2014年6月	第15回日本言語聴覚学会, 大宮	牧野日和, 早川統子, 瀬戸千尋, 小林季実子, 植田千里, 山本正彦
8. 言語治療に難渋した機能性構音障害の口蓋化構音の一例	学会発表	2014年6月	第15回日本言語聴覚学会, 大宮	高津淳, 早川統子, 井上知佐子, 森智子, 牧野日和, 杉山裕美, 古川博雄, 夏目長門, 山本正彦
9. 顔面筋の筋緊張異常に対する振動刺激効果の検討	学会発表	2014年6月	第15回日本言語聴覚学会, 大宮	田中誠也, 横井孝, 窪浩治, 高見修治, 山本正彦
10. 口腔先天異常に関する遺伝カウンセリングの実態調査	学会発表	2014年7月	第54回日本先天異常学会学術集会, 相模原	井村英人, 藤原久美子, 山本正彦, 鈴木聡, 加藤大貴, 大野磨弥, 森明弘, 古川博雄, 新美照幸, 早川統子, 夏目長門
11. 遠隔言語訓練による口蓋裂言語への言語訓練 第6報	学会発表	2014年7月	第54回日本先天異常学会学術集会, 相模原	早川統子, 山本正彦, 井上知佐子, 森智子, 相原喜子, 早川統子, 山本正彦, 井上知佐子, 森智子, 相原喜子, 牧野日和, 新美照幸, 南克浩, 古川博雄, 井村英人, 加藤大貴, 鈴木聡, 大野磨弥, 佐久間千里, 山内楓子, 片山和男, 夏目長門

渡辺輝也

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. ハードル走の学習指導におけるスモールステップ化を可能にする新しい教具の提案	単著	2014年7月	体育科教育学研究, 30巻2号		pp.37-50
2. 背面跳びの踏切を遠くするための新しい方法論的アプローチの提案	単著	2014年6月	体育学研究, 59巻1号		pp.297-314